



今庄っ子

今庄小学校だより

【教育目標】郷土と自然に親しみ、心豊かにたくましく生きる児童の育成

令和8年9月18日発行 第7号



「実りの秋」に向けて、58人の「いい風」吹かそう

朝夕は涼しく過ごしやすくなりました。夜には、たくさんの虫の合唱も聞こえます。夏の間静かだった校舎にも、今庄っ子の元気な声、明るい歌声が戻ってきました。始業式では、2学期のスタートにあたり次のような話をしました。



今日、ここで今庄っ子のみなさんに会えてとてもうれしいです。「2学期のスタートに学校に来る」という大事な宿題をよくがんばりました。学校に来ることがちょっと嫌だった人、苦しかった人がいるかもしれませんが、今、ここにすることがすばらしいです。心と命を大事に夏休みを過ごすことができましたね。

さて、今年の夏は、全国、世界でも大きな地震や大雨による災害が多く発生しました。熊本地震、千葉豪雨、石川・富山の大雨、そして、福井県でもこの週末に大雨に見舞われ大きな被害が発生したところです。私たちは、自分の命を守る行動を真剣に考え、実行できるようにしなければなりません。

季節は夏から秋に向かっていきます。田んぼの稲が大きく育ってお米を実らせています。稲刈りも始まっています。多くの作物が「実りの秋」を迎えます。みなさんの学校生活も2学期は「実りの秋」を迎えます。学校や学年での楽しい行事がたくさんあります。全校で力を合わせる「いまじょうスポーツフェスティバル」は、「体育大会」から名前を変更しました。「みんなの力で盛り上げて楽しむ」という意味が込められています。他にも、6年生の修学旅行、1～5年生の校外学習、高学年は他の学校の友達との交流会なども予定されています。それらの活動や行事は、学校の外で行われます。他の学校の子や普段は接することのない人と関わりながら行われます。その日、その時だけ頑張ろうとしても良い活動にはなりません。その日までの学校生活で頑張ったことが生かされます。



それぞれの活動に目標をもって取り組みましょう。

田んぼの稲は、暑い夏を乗り越えておいしいお米を実らせています。みなさんにも、つらさや苦しさを乗り越えて、これらの行事を成功させてほしいと願っています。よい2学期にしましょう。

たくさん考えて、工夫したよ！～夏休み作品展 9/1～9/10～

今年も今庄っ子の夏休みの作品を今庄ホールに展示しました。課題ポスターをはじめ、低学年はアイデア貯金箱などの工作、高学年は理科研究に取り組みました。工作は、身近な素材を利用しながら、夢が広がる作品に仕上がりました。高学年は、生活の中の疑問を観察したり調査したり、実験と考察を繰り返しながら発見したことなどを丁寧に記載しています。各教室で、友達と課題の成果を伝え合う活動も行いました。子どもたちは、自分や友だちの作品の良さを知ることができました。



R8 全国学力・学習状況調査結果(6年生 4月実施)

8月に今年度の全国や県の平均正答率が公表されました。本校の結果の全体的な傾向は次の通りです。

	国 語	算 数
今庄小平均正答率の状況	県平均を大きく上回る	県平均と同程度
福井県平均正答率(%)	64	57
全国平均正答率(%)	60.9	56.4

＜生活や学習について＞
「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望をもっている」「いじめはどんな理由があってもいけない」「100%など、自己有用感が高く、良好な人間関係を築く意欲の高さがうかがえます。



一方で、「平日の家庭での学習時間」は県・全国の平均と比べて少ない傾向にあります。これらの結果をもとに、全教員で2学期以降の改善内容を検討しました。学習も生活も、6年生だけでなく低学年からの積み重ねを大事にした取り組みにしていきます。特に、生活や学習について次のことに取り組みます。今庄小学校は、今後ともご家庭や地域と手を携えながら「今庄っ子58名」を育てていきます。

- お互いの意見を尊重する「聴き方」、自分の考えを伝える「話し方」ができているかを定期的に振り返る機会をもつ。
- 引き続き、「いいところみつけ」などお互いのことを大切に思える人間関係づくりに努める。
- 学年相応の読書を楽しむ取り組みを工夫する。
- 学習した内容を生活や他の教科で生かす場面を設定する。

小さな命を大事に育てよう～県ワクワク花づくりサポート事業～

9月10日(水)に、今庄っ子全員で「県小中学生ワクワク花づくりサポート事業」に参加し、ビオラの種を育苗ポットに植えました。この事業は、子どもたちが花づくりを通じて自然に親しみ、緑と花の景観づくりを広げることを目的としています。この日は、なかよし班ごとに、県から委嘱されている「花サポーター」の先生方から手ほどきをうけながら取り組みました。ビオラの種は小さく(ごま粒より小さい?)、それを竹串を使って一つずつやさしく植えていきました。



毎朝、高学年が中心に底面給水(水をはった容器にポットを浸して底から水を吸わせる方法)を丁寧に行ってくれています。15日(月)にかわいいふた葉がたくさん出ているのが確認できました。生育が早ければ、3月の卒業式に並べることができそうです。

「夢を叶えられた人がすばらしいのではなく、夢を叶えるために努力した人がすばらしい」(ロンドンオリンピック女子バレーボール銅メダル井上香織選手)9月16日(水)に町教育委員会主催の「夢の教室」にて5年生に向けた言葉です。ボールを使ったゲームを一緒に楽しんだり、話を聞いたりしながら、7名の子どもたちが自身の夢に向かって歩む勇気と希望を育みました。

